

水道料金で賄っている 水道事業会計の今後の見込み



水道事業は、運営に必要な経費を、皆さんからいただく水道料金などで賄っています。

市は、経営の健全化を図るため、平成13年度から平成16年度までの4年間の必要経費を想定して、平成13年7月に、平均15.58%の水道料金の改定を行いました。

その後、事務事業の改善やO A化への取り組み、業務委託など事務事業の効率化を図り、さらには、人件費の抑制など徹底した経費節減と効果的な事業投資に努めてきました。

給水人口と給水収益 ～表1参照

収益的収支は、平成17年度実績で純利益を確保しました。また、平成18年度予算も、純利益を確保できる見込みですが、近年、給水人口の減少や低迷する経済情勢、節水意識の高まりなどにより、水需要や給水収益（水道料金収入）は減少傾向が続くものと予想しています。

【表1】給水人口と年間給水量、給水収益の推移

項目/年度	H13 (実績)	H14 (実績)	H15 (実績)	H16 (実績)	H17 (実績)	H18 (予算)	H19 (見込)	H20 (見込)	H21 (見込)	H22 (見込)	H23 (見込)	H23 -H19
給水人口 (人)	53,682	53,508	53,350	52,951	52,672	52,100	51,710	51,330	50,950	50,750	50,180	▲1,530
年間給水量 (千m ³)	4,644	4,520	4,502	4,529	4,445	4,383	4,336	4,271	4,220	4,169	4,130	▲206
給水収益 (千円)	842,373	858,359	855,744	860,825	843,550	842,620	820,906	808,675	799,059	789,439	782,135	▲38,771

水道事業会計の見通し ～表2参照

今後、水道事業会計は、収益的支出の人件費や減価償却費、資本的支出の投資的経費や企業債償還金などに多くの財源を必要としており、平成19年度以降、正常な事業の運営が難しくなると見込まれます。

【表2】今後の財政収支見通し

(単位：千円)

項目/年度		H17 (実績)	H18 (予算)	H19 (見込)	H20 (見込)	H21 (見込)	H22 (見込)	H23 (見込)	
収益的収支	収入	902,152	899,182	871,006	858,775	849,159	839,539	832,235	
		給水収益	843,550	842,620	820,906	808,675	799,059	789,439	782,135
		その他	58,602	56,562	50,100	50,100	50,100	50,100	50,100
	支出	847,488	896,769	890,705	879,942	870,452	869,610	869,258	
		人件費	112,324	119,648	123,474	116,336	116,922	117,606	118,468
		減価償却費	287,999	284,190	301,895	304,814	304,683	311,376	317,526
		企業債利息	166,577	163,511	155,336	150,112	142,953	137,214	131,940
	修繕費など	280,588	329,420	310,000	308,680	305,894	303,414	301,324	
	単年度損益（純利益）	54,664	2,413	▲19,699	▲21,167	▲21,293	▲30,071	▲37,023	
	累積欠損金			▲19,699	▲40,866	▲62,159	▲92,230	▲129,253	
資本的収支	収入	186,910	160,000	170,000	109,400	167,000	158,000	193,000	
		企業債	179,600	137,000	155,000	98,000	160,000	156,000	191,000
		その他	7,310	23,000	15,000	11,400	7,000	2,000	2,000
	支出	567,038	568,415	602,346	549,321	596,004	570,041	623,807	
		建設改良費	340,498	355,939	380,646	299,714	330,858	309,810	365,904
		企業債償還金	226,540	207,476	221,700	249,607	265,146	260,231	257,903
		予備費		5,000	0	0	0	0	0
	資金過不足額	▲380,128	▲408,415	▲432,346	▲439,921	▲429,004	▲412,041	▲430,807	
補てん財源		616,915	542,911	439,192	312,993	178,962	53,763	▲55,275	
年度末内部留保額		236,787	134,496	6,846					
年度末資金不足額					▲126,928	▲250,042	▲358,278	▲486,082	

今後の水道事業の課題

市は、安全で良質な水の安定供給を行うという使命を果たすために、浄水場や配水管などの水道施設を常に整備しているかなければなりません。

水道事業会計は、これまで経営の合理化に努めてきましたが、試算では表2のとおり平成19年度から収益的収支は赤字になり、平成20年度からは年度末資金に不足を生じると予想され、財源確保が重要な課題となっています。

問い合わせ
水道グループ (☎05 5 5 0 1)
ホームページ
<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp>